

報道ご関係者各位
2011年4月21日

マニユライフは東日本大震災からの復興支援をボストンマラソンで表明

ボストンマラソンに参加した日本人アスリートが、サインした横断幕をマニユライフ生命に寄贈

マニユライフ生命保険株式会社(社長兼 CEO: クレイグ・ブロムリー、本社: 東京都調布市)は、4月18日に行われた2011ボストンマラソンに出場した日本人アスリートがサインした横断幕を寄贈される予定です。横断幕の寄贈は、マニユライフ生命の親会社であるマニユライフ・ファイナンシャルの、東日本大震災被災地復興支援活動の一環です。マニユライフ生命は、この横断幕を被災地へのメッセージとして、当社事務所で展示する予定です。

車いすの部で優勝した男子の副島正純選手、女子の土田和歌子選手、ウィメンズ・エリート・フィールド枠で初めて参加し一般の部で91位となった大南博美選手が横断幕にサインしました。副島選手は2007年の優勝に続いて2度目の優勝、土田選手は5年連続の優勝で、コース記録を更新し、1994年以来となる世界記録更新を達成しました。3選手は、東日本大震災からの復興を祈念して、横断幕にそれぞれの思いをサインしました。

マニユライフ・ファイナンシャルのグループ企業であり、2011ボストンマラソンの主要スポンサーであるジョン・ハンコックがこのマラソンを通じて、東日本大震災からの復興支援のため様々な取り組みを行っており、横断幕の寄贈はその活動の一部です。横断幕に加えて、ボランティアを務めたジョン・ハンコックの従業員たちは、一ヶ月前の大震災で被災した日本国民への支援と励ましの印として、小さな日米の国旗のピンを身に付けて活動しました。マニユライフ・ファイナンシャルは、グループ全体で少なくとも100万カナダドル(約8700万円程度)を東日本大震災への義援金として拠出することを既に決定しておりますが、その他にジョン・ハンコックは赤十字と共同で“Hope for Japan”と刻まれたプレスレットの提供を行い、募金活動を展開しております。

ボストンマラソンの表彰式では、マニユライフ・ファイナンシャル 社長兼 CEO のドナルド・グロイオンが挨拶し、日本への支援等について述べました。また、副島選手と土田選手に“Hope for Japan”と刻まれたプレスレットをプレゼントしました。

横断幕は、2011年10月15日に味の素スタジアムで開催される予定のイベント「マニユライフ生命わくわくチャリティラン&駅伝」でも展示されます。また、復興支援活動の一環として、このイベントの参加者の中から抽選で2名が2012年ボストンマラソンへの参加資格を特別に獲得する予定です。

マニユライフ生命 社長兼 CEO クレイグ・ブロムリーは次のように述べています。

「私は、ボストンマラソンでの日本人選手の活躍に心から感銘を受けました。また、日本人選手が被災地へのメッセージを表明して下さったこと大変感謝しております。マニユライフ・ファイナンシャルグループとして私たちは被災地の一日も早い復旧を応援してまいりますと共に、復興の達成をお祈り申し上げます」



Photorun.net

左から、副島正純選手、マヌライフ・ファイナンシャル社長 ドナルド・グロイオン、土田和歌子選手

マヌライフについて

マヌライフ生命保険株式会社（「マヌライフ生命」）は、マヌライフ・ファイナンシャルのグループ企業です。

マヌライフ・ファイナンシャルは、カナダを本拠とし、世界22カ国・地域で事業を展開している金融サービスのリーディング・グループです。マヌライフは120年以上にわたり、信頼に支えられ、その信頼に真摯に応える企業として、また力強さに満ち、明日を切り拓く企業として、人生で最も重要な資金面の決断を行う際の解決策を、世界各地のお客さまにお届けすることを目指してまいりました。同社職員、エージェンต์および販売パートナーの国際的なネットワークを通じて、世界各地の数百万のお客さまに経済的保障や資産運用・形成のための商品・サービスをご提供しています。また、世界各地の機関投資家のお客さまには、資産運用サービスのみならず、生命保険および損害・傷害保険の再々保険に特化した再保険の解決策もご提供しています。マヌライフ・ファイナンシャルとその子会社の管理運用資産は、2010年12月31日現在4,750億カナダドル（4,780億米ドル）となっています。カナダおよびアジア地域ではマヌライフ・ファイナンシャルとして、米国においては主にジョン・ハンコックとして事業を展開しています。

マヌライフ・ファイナンシャル社—は、トロント証券取引所、ニューヨーク証券取引所およびフィリピン証券取引所においては「MFC」の銘柄コードで、また、香港証券取引所では「945」で取引されています。マヌライフ・ファイナンシャルについての詳細は同社ホームページ（www.manulife.com）をご覧ください。マヌライフ生命のホームページは次の通りです。（www.manulife.co.jp）